

TAKE FREE

# KOMOTO STYLE

## Vol.18

2018 AUTUMN-2019 WINTER

大満足のおうちが  
できました!



きれいになって  
みんな大喜びです!



★ ★ 家づくりのヒントがいっぱい! ★ ★

NEW HOUSE USER REPORT

新築ユーザーレポート

家族みんなの笑顔が弾ける  
理想の住まい

REFORM USER REPORT

リフォームユーザーレポート

リフォームで未来につなぐ  
幸せのカタチ

# NEW HOUSE USER REPORT

〈新築ユーザーレポート〉

館林市／中村邸



対面式のカウンターキッチンで家族の会話も弾みます



勇翔くんを中心に家族の笑顔が広がります



木目と白壁が心地いいフラットで広いリビング

「収納たっぷりて助かってます」と奥様



広いおうち、だーいすまー!



## 家族みんなの笑顔が弾ける理想の住まい

スッキリと晴れ渡った夏空の下、白壁とレンガ調のオシャレな佇まいが目を引く中村邸。

「こんにちは」と出迎えてくれたのは、中村さんご夫妻と4歳の勇翔(はやと)くんです。

たくさん笑顔があふれ、夏の暑さも忘れる楽しいひとときとなりました。



インテリアのポイントにもなっている、天井の化粧梁とスポットライト

### 信頼関係からスタートした家づくり

中村さんご一家と河本工業との出会いは、約4年前にさかのぼります。勇翔くんの誕生を機に家づくりを考えはじめたという中村さんご夫妻。ちょうどその少し前に、ご主人のお知り合いが河本工業で家を建てたのだそうです。「実はそれまで河本工業さんのことは『学校など公共施設をつくっている会社』くらいしか知らなかったんです。でも、知人の家を見せてもらったとても素敵で、細かい要望や変更にもきめ細かく対応してくれた、という話を聞き、私たちも一度相談してみようと思いました」。当時はまだ、家を建てる場所も決まっていなかった状態でした。でも、ご夫婦は「いくつか他社のモデルハウスも見てみ

たものの、すぐに『家づくりをするなら河本工業さんにお願ひしよう』と決めました」といいます。その決め手は?と尋ねると、お2人は声を揃えて「設計担当の鎌田さんです!」と即答。「最初の段階からいろいろと提案をしてくれて、家づくりのことや費用のことも丁寧に教えてくれました」というご主人に続き、「とても話やすく何でも相談できたので、安心してお任せできると思いました」と奥様。ご主人と鎌田さんの共通の趣味であるサッカーの話で、お互いの距離も一気に縮まったそうです。その後土地探しを続け、最終的に、奥様のご実家のすぐ近くである現在の場所に家を建てることになりました。

### 家族の笑顔が集う開放感いっぱいのリビング

そして、いよいよ本格的にスタートした家づくり。そのプランを考えるうえでも、ご主人は「ほとんど鎌田さんからの提案通り。できあがりには大満足です」と語ります。ご夫婦からは「なるべく広く見えるようにしたい」「収納を多くしたい」といった希望を伝えたそう。白壁に木のアクセントが効いたリビングダイニングは、明るい雰囲気と開放感いっぱい。天井にあえてつくった段差や、化粧梁に取り付けられた照明など、メリハリをつけながら室内を広く見せる工夫が施されています。ダイニングスペースのみブラウンになっている天井は、「すべて同じ高さで同じ色だと空間が間延びしてしまいそう

ですけど、高さや色を変えることでオシャレに広く見えますよね。これも鎌田さんからのご提案なんですよ」とご主人もお気に入りの様子。また、シックな色調の木目で統一されたドアの向こうには、納戸や造り付けのクローゼットなど、たっぷりの収納スペースが。「収納スペースを外から見せたくなくて、全部隠せるようにつくってもらいました。おかげで、タンスなどの収納家具がほとんど必要ありません」と奥様。おもちゃや洋服など細々したものが増えがちな子育て中も、これならスッキリ快適に暮らせそうです。



「鎌田さんは、初対面からすぐに打ち解けることができました」とご主人



設計担当の鎌田さんと一緒に笑顔でパチリ♪



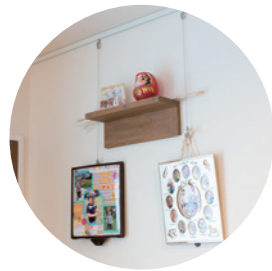
上のマークにスマートフォンをかざすと  
取材中の動画を視聴できます。

視聴方法は裏表紙の「動画でチェック!」をご覧ください。

# NEW HOUSE USER REPORT

〈新築ユーザーレポート〉

館林市／中村邸



明るい陽の光が差し込むダイニングスペース。奥にはデスクとしても使えるカウンターが



白壁にブラウンのコントラストが映える外観。2階に並ぶ小窓がアクセントに



芝のお庭だから、転んでも痛くないよ!



「家族みんなの夢が叶った、大満足の家づくりでした!」



## FAMILY SMILE AND IDEAL HOUSE

### 暮らしやすさをアップする細やかな気配り

リビングの横には、正方形の畳のオシャレな和室が続いています。格子状にデザインされたグリーン天井は、モダンでありながらもホッとくつろげる雰囲気。「実は、当初のプランでは和室は独立した部屋になる予定だったんですよ」と、鎌田さん。「でも、それでは来客時くらいしか和室を使う機会がなくなってしまいますよね。それならリビングの続き間にして、普段から使えるようにしようと変更しました」。和室は勇翔くんの遊びスペースにもなっており、「キッチンから子どもの様子が見えるようにしたかった」という奥様の希望にもピッタリ。フラットな広いスペースで、勇翔くんものびのび楽しそうに遊んでいます。

また、キッチンの脇には、構造上取り除くことができない柱を活用した、目隠しを兼ねた柱列が。温もりのある木の雰囲気

気を活かしながら、リビングの入口からキッチンの中が丸見えになるのを防いでいます。さらに、勇翔くんが小さいうちはキッチンにゲートを取りつけられるよう、キッチンカウンターの長さにも配慮。細やかな心配りで、暮らしやすさがぐっとアップしますね。「リビングから水回り、収納など、生活動線もとてもスムーズでストレスゼロです!」と、ご夫婦が笑顔で語ってくれました。



### 帰ってくるのが楽しみになる家

家族写真が飾られたリビング奥のカウンターは、椅子を置けばデスクに早変わり。「ちょっとした書き物をするのにも便利ですし、子どもがもう少し大きくなったらここで勉強もできますよね」と、ご主人。キッチンで家事をするママのそばなら、勇翔くんもきっと楽しく勉強できるでしょうね。2階にはきょうだいが増えても大丈夫なように子ども部屋を2部屋用意し、成長や生活の変化に合わせて使い分けを考えているそうです。また、「外から見たときの格好良さにもこだわったかった」というご主人の言葉通り、外観もとてもオシャレな中村邸。白とブラウンのコントラストを活かしながら、モジュールに忠実なファサードにより洗練されたイメージを演出しています。「仕事が終わってこの家に帰ってくると『やっぱりいい』と思いますね」と、ご主人。

こんなに素敵なお家なら、お仕事の疲れも一気に吹き飛びそうです。リビングからも出入りができる庭は、「手入れがラクなように」と人工芝をチョイス。「休みの日はここでプール遊びをしているんですよ」と話すご主人の横を、勇翔くんが早速ボールを持って飛び出していきます。広々スペースで、思い切り体を動かして遊べますね。夏の青空の下、親子3人の明るい笑い声が弾けます。「妻の実家がすぐ近くなので、私が仕事で帰りが遅くなっても安心です」というご主人に続き、奥様も「両親に子育てをサポートしてもらって助かっています」とニコリ。理想の住まいで、家族みんなの笑顔がもっと増えていきそうですね。



# REFORM USER REPORT

〈リフォームユーザーレポート〉

館林市／川島植物園

## リフォームで 未来につなぐ幸せのカタチ

この日訪れたのは、館林市で長年造園業を営む川島植物園さん。

従業員が増えて手狭になった事務所を拡張するため、

昨年、大幅なリフォーム工事を行いました。

「とても使いやすい事務所になりました」という川島社長に、

工事を振り返っていただきました。



今回のリフォームは、従業員の皆さんやお客様にもとても好評なんだそう



事務所から奥へ続く扉と階段は、手を加えずに元のまま。木目が白壁とマッチし、温かい雰囲気

### 従業員の増加に伴い事務所を拡張

先代である会長が創業して以来、半世紀以上にわたり、ここ館林で造園業を営んできた川島植物園。従業員が増えて事務所が手狭になってきたのをきっかけに、リフォームを考えるようになったそうです。「以前の事務所では、スタッフ全員の机が置ききれなくなってしまっ。それで、もともとお付き合いのあった河本リフォームセンターの大塚所長に「スペースを広げたい」と相談しました」と語ってくれた川島社長。「当初は庭の部分に建

物を広げようと考えていたのですが、そうすると増築面積が大きくなり、申請許可が必要になると分かりました。そこで大塚所長や施工担当者の青木さんからのご提案で、建物反対側のお手洗い部分を増築することにしました。さらに、事務所に隣接する住居スペースのうち、使用していなかった一部のフロアをつなげることに。増築面積は最小限に抑えながらも、事務所スペースを大幅に広げることができました。



正面の入口とは別に、事務所裏手に設けられたドア。出入りにとても便利だそう



快適オフィスで仕事もはかどります



青木さんとの信頼関係もバッチリと社長

### 気持ちに寄り添う提案で満足のリフォームに

リフォーム工事に費やした期間は約3ヶ月。会社の業務をストップすることはできないため、社内の設備を移動しながら、段階を分けて工事を進めたそうです。工事期間中は会長が頻繁に現場に足を運び、「現場の総監督」としての役割を果たしていたのだとか。「私たちが「処分して構わない」と思っても、会長にとっては思い入れの強いものもありますから。青木さんはいろいろと臨機応変に対応してくれて、少し大変だったんじゃないかな(笑)」という川島社長に続き、青木さんも「工事に必要なくても、大切だとお聞きしたものは保管してあるんですよ。次のリフォームの機会があったら、どこか

に使えるといいですよ」と話します。気持ちに寄り添った親身な対応が、満足のリフォーム工事につながったのでしょうね。また、川島社長が「これも青木さんからの提案なんですよ」と教えてくれたのが、事務所の裏手にある小さな出入口です。「はじめに想定していたのは正面の入口だけで、もう一つドアを作ろうなんて考えてもいませんでした。でも実際にできあがってみると、ここに入出口があるのがとても便利で。事務所の奥に行くときもスムーズに移動できます」。作業効率を考えたリフォームで、ますます仕事もはかどりそうですね。



After

スッキリと整頓され、仕事がしやすい事務所に



Before

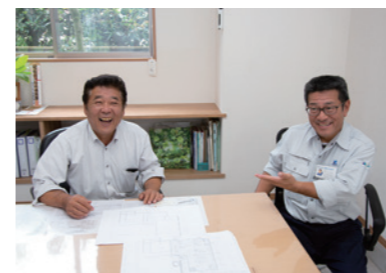
### 明るく開放的な雰囲気で仕事の効率もアップ

「スッキリとした白壁や、陽の光が入る窓も気に入っています。事務所が明るくなりました」と語ってくれたのは、社内で事務に携わっている社長の妹さんです。「もともとあった部屋は窓がなくて、とても暗い雰囲気だった」という事務所奥のスペースも、大きな窓をつけたことでパッと開放的なイメージになりました。打ち合わせなどで訪れるお客様にも「キレイになった」「広くて気持ちがいい」と、とても好評だといいます。シンプルで洗練された印象のある外壁は、跡継ぎである社長のご長男が選んだそう。また、事務所裏手のお稲荷さんを囲む竹の垣根は、自社で手掛けたもの。事務所の外観ともマッチしたセンスあるできばえはさすがです。

広くキレイになった事務所は従業員の皆さんにも好評なようで、「もともと事務所は土足で使っていたのですが、「キレイな状態をキープしたいから」と、従業員がみんな靴を脱いで上がるようになったんですよ。これには私たちもビックリしました」と、川島社長。完成から1年が経った現在も、来客用の応接スペース以外はスリッパ履きが継続中なのだそうです。インタビュー中も青木さんと図面を広げながら「ゆくゆくはこちらにも事務所を広げたいな」「息子の代になったら配置はこうしようか」と、話を花を咲かせていた川島社長。新しく生まれ変わった事務所は、会社の発展とともに、次世代にも引き継がれていくのでしょうか。



壁にはさまざまな功績をたたえた表彰状が。レールを取りつけたことで、木製の賞状も掲示しやすくなりました



図面を広げながら、工事の思い出話に花が咲きます



白とグレーのツートンカラーがオシャレな外観

After



Before

2018 Autumn~Winter  
Let's feel "komachi"



超断熱 体験型モデルハウス

# 『komachi』

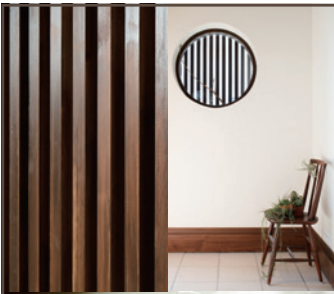
和モダンスタイルをご体感ください

「いつも居心地の良さを感じる」「どこか落ち着く和の佇まい」

「なぜか節約できてしまう」

そんな思いやりをカタチにした住まい

わたしたち河本工業が提案する次世代型住宅です。



高齢者配慮型住宅 耐震等級3 住宅性能表示制度対応 高い資産価値

見学をご希望の方はこちらからご予約ください。※予約制

電話予約受付時間[平日9:00~17:00]

0276-72-3325

超断熱専用サイト

超断熱.jp



住宅事業部専用サイト

河本工業 住宅



## 動画でチェック!

あなたのスマートフォンに  
無料アプリ「COCOAR2」を  
ダウンロード、インストールしてください。



Download on the  
App Store

Google play

下のマーカーにスマホをかざすと、  
現地まで動画でご案内します。



炭たか炭様交差点から



城町交差点から



『komachi』所在地/〒374-0018 群馬県館林市城町11-5



理想の庭づくりを  ご提案いたします。

KAWASHIMA

営業内容/造園、設計施工、管理、庭園樹、苗木、緑化材、芝生、庭石、土工工事一式、外構工事一式



総合造園建設業

有限会社 川島植物園

〒374-0067 群馬県館林市岡野町231  
群馬県知事許可(般)第5261号

TEL.0276-72-1940 FAX.0276-73-8319

E-mail:y.kawashima@iris.ocn.ne.jp

POSTSCRIPT

今回も家づくりへのお客様の大満足をお届けすることができました。今後もお客様やご家族の大満足の輪を拡げていけるようがんばってまいります。

KOMOTO STYLE 編集委員会

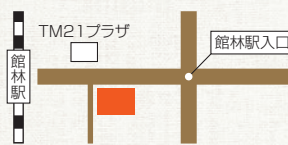
STAFF

- PUBLISHER : Kinsaku Handa
- EDITOR IN CHIEF : Satoru Yamamoto
- EDITOR : Kentaro Kamata
- SPECIAL THANKS CREATORS :  
W / Tomomi Kato, P / Masaaki Konno,  
D / DESIGN NU, DIRECTOR : COIKI INC.

河本リフォームセンターは 受付時間/9:00~17:00

毎月 第1日曜日は営業しています!

お気軽にご相談ください。



 河本工業株式会社

〒374-0057 館林市北成島町2544

新築のご用命はこちら

TEL.0276-72-3325

FAX.0276-72-3327

リフォームのご用命はこちら

☎ 0120-75-9188

www.komoto-style.jp

河本工業 住宅

検索

本情報誌への掲載や出演のお問い合わせは info@coiki.net まで